

わたり社協だより

社会福祉法人 巨理町社会福祉協議会

巨理町字旧館60-7 TEL 0223-34-7551 FAX 0223-34-7552 文責 社協広報部会

巨理社協ホームページ URL: <http://www.watarishakyo.or.jp>

「わたり社協だより」の点訳版もあります。ご希望の方は社会福祉協議会へお問合せください。



No.126



グラウンドゴルフ優勝者

さざんかの会

ふれあい 食事サービス

さざんかの会は、町内にお住まいの70歳以上のひとり暮らしの方を対象にしたサロンです。

町内を巨理地区、吉田・荒浜・逢隈地区との2地区に分け、交代で毎月開催しています。

6月は天気にも恵まれ全地区合同でグラウンドゴルフを行いました。(関連ページP5)

目次

令和4年度事業報告	2～3
令和4年度決算のあらまし	2
令和4年度賃借対照表	3
令和5年度事業計画	4
令和5年度予算のあらまし	4
地域福祉活動計画について	4
さざんかの会ふれあい食事サービス	5
子ども食堂「わたりんりん」	5
今この人に会いたい	6
朗読会を開催しました	6
サロン紹介	7
介護家族教室・在宅介護者激励会	7
社協会費納入のお願い	8
フードドライブ	8



事業報告

障がい者福祉活動

- * 重度障がい者紙おむつ無償配布
- * ほのぼの園、ゆうゆう作業所利用者の地域との交流企画促進
地域との交流機会を提供するための事業を行った

ボランティア活動の推進

- * ボランティアの登録
16団体236名 個人4名 合計240名
- * 災害ボランティアセンターの体制整備と強化
- * 災害ボランティアセンター運営協定による支援

福祉教育の推進

- * 福祉体験学習会の開催(キャップハンディ体験学習) 463名
長瀬小学校(3年生)
荒浜小学校
(1, 2, 3, 4年生)
高屋小学校(3, 4年生)
逢隈小学校(3, 4年生)
- * 福祉講座
4回開催 84名 キャップハンディ体験(白杖)



地域福祉型福祉サービス事業

- * 福祉車両貸出サービス
延べ207回
- * 短期車いす貸出サービス
延べ58回



貸出車両

福祉サービス利用援助事業

- * 日常生活自立支援事業(まもりーぶ事業)
利用者7名
- * 生活相談所の開設 24日 相談件数 6件
- * 生活安定資金貸付 10件
- * 新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金
緊急小口資金等特例貸付
緊急小口資金相談件数 相談 92件 申請 20件
総合支援金相談件数 相談106件 申請 22件
- * 高額療養費貸付 1件

在宅福祉サービスの推進

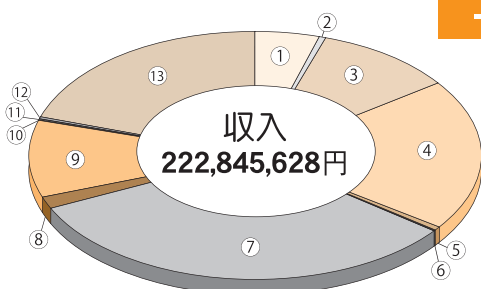
- * 介護保険事業
居宅介護支援 1,882件 訪問介護 1,169件
- * 日常生活支援事業 訪問介護 11件
- * 身体障害者居宅介護支援事業等 135件
- * 移動支援居宅介護事業 24件
- * 地域活動支援センター「巨理町ほのぼの園」の管理運営
開設日 284日 利用者数 2,557名
- * 就労継続支援B型「巨理町ゆうゆう作業所」の管理運営
開設日 238日 利用者数 2,621人

その他

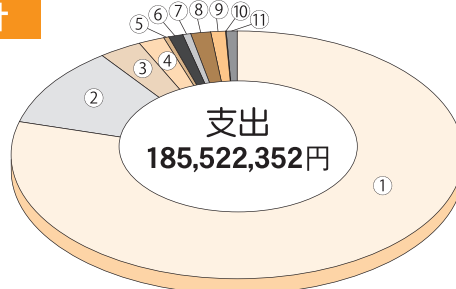
- * 24時間テレビチャリティ街頭募金
新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い、
ヨークベニマル巨理店へ募金箱設置
募金実績額 42,273円
- * 寄付の状況 指定寄付金 26件 1,056,174円

令和4年度 決算のあらまし

一般会計



①会費収入	10,253,450 円
②寄付金収入	1,056,174 円
③経常経費補助金収入	22,240,921 円
④受託金収入	43,956,722 円
⑤貸付事業収入	1,072,534 円
⑥事業収入	321,370 円
⑦介護保険事業収入	72,616,931 円
⑧就労支援事業収入	3,448,608 円
⑨障害福祉サービス等事業収入	22,366,485 円
⑩受取利息配当金収入	3,111 円
⑪その他の収入	452,567 円
⑫施設整備等補助金収入	600,000 円
⑬前期末支払資金残高	44,456,755 円



①人件費支出	147,159,103 円
②事業費支出	19,443,149 円
③事務費支出	5,682,062 円
④就労支援事業支出	3,448,608 円
⑤貸付金支出	682,000 円
⑥共同募金配分金事業費支出	1,907,629 円
⑦助成金支出	1,062,378 円
⑧その他の支出	2,646,493 円
⑨固定資産取得支出	1,944,110 円
⑩積立資産支出	100,000 円
⑪その他の活動による支出	1,446,820 円

スマホでチェック!

こちらから詳しい情報をご覧ください



令和4年度

地域福祉の推進活動

- *生活支援体制整備事業における高齢者等を支える地域づくり
活動件数 第1層コーディネーター 1,067件 第2層コーディネーター 1,020件
- *ふれあいいきいきサロン「あずまっせ」活動費助成事業
サロン活動助成 45グループ 539,178円
- *フードドライブ
家庭等で余っている食品を譲り受け、食事に不自由している方々へ配布した
回収受付 109件 配布 143件 (子ども食堂への活用を除く)
- *ニュースポーツ用品の貸し出し 58件

高齢者福祉活動

- *ふれあい食事サービスの開催(12回)
491名(ボランティアを含む)
- *「愛のヤクルト」訪問サービス 16,239名
- *高齢者寝具洗濯乾燥サービス 131名
- *ねたきり高齢者紙おむつ無償配布 1,864名
- *家族介護教室・在宅介護者激励会
54名参加(3回実施、1回中止)



家族介護教室



ふれあい食事サービス
(日帰り旅行)

子育て世代・児童福祉活動

- *家庭支援事業「サンタがウチにやってくる」
ひとり親家庭及び未就学児のいる世帯へ、サンタクロースと一緒にプレゼントを届けた
訪問数 29世帯
- *新生児紙おむつ券・ミルク券贈呈事業 164人
- *学生服等リユース「おゆずり」事業
サンタがウチにやってくる
使用しなくなった町内中学・高校の制服の寄付を募り、ひとり親世帯など制服の準備が困難な家庭へ支援した
寄付 25名 譲渡 34名
- *小学校入学祝品贈呈事業 249人
- *ほほえみ事業(子ども食堂「わたりんりん」)
居場所作りとしての支援活動
187世帯(6回実施)
ほほえみ事業
(子ども食堂「わたりんりん」)



貸借対照表

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	47,509,736 円	流動負債	10,186,460 円
現金預金	28,526,141 円	事業未払金	7,165,424 円
事業未収金	16,450,559 円	職員預り金	1,088,000 円
未収補助金	600,000 円	サービス区分間借入金	1,933,036 円
サービス区分間貸付金	1,933,036 円	固定負債	32,762,381 円
固定資産	170,889,342 円	退職給付引当金	32,762,381 円
基本財産	10,000,000 円	負債の部合計	42,948,841 円
定期預金	10,000,000 円	純資産の部	
その他の固定資産	169,889,342 円	基本金	1,000,000 円
建物	736,603 円	基本金	1,000,000 円
構築物	1 円	基金	51,588,006 円
車輛運搬具	2,354,129 円	社会福祉基金	51,588,006 円
器具及び備品	384,301 円	国庫補助金等特別積立金	579,168 円
貸付事業貸付金	2,630,229 円	国庫補助金等特別積立金	579,168 円
退職手当積立基金預け金	15,565,014 円	その他の積立金	78,348,718 円
退職給付引当資産	17,197,367 円	財政調整積立金	69,484,771 円
社会福祉基金積立資産	51,588,006 円	車輛備品購入積立金	1,273,000 円
財政調整積立資産	69,484,771 円	支援金積立金	7,590,947 円
法人車輛備品購入積立資産	1,117,000 円	次期繰越活動増減差額	43,934,345 円
介護保険車輛備品購入積立資産	156,000 円	次期繰越活動増減差額	43,934,345 円
支援金積立資産	7,590,947 円	(うち当期活動増減差額)	△4,637,627 円
その他の固定資産	1,084,974 円		
資産の部合計	218,399,078 円	純資産の部合計	175,450,237 円
		負債及純資産の部合計	218,399,078 円

令和5年度 事業計画

【基本理念】 「みんなが あったかい心で支え合う 住みよいまち わたり」

【基本方針】

現在、我が国では急速な人口減少や少子高齢化を迎え、単身世帯の増加、地域や家族における繋がり希薄化などにより、個人や世帯を取り巻く環境にも著しい変化が見られています。

長期化した新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちの日常生活は人と人の距離の保持、接触する機会を減らすことを求められ、地域活動や住民による集いの機会、ボランティア活動など、いまだに元通りとはいかない状況が続いています。

さらに、生活困窮者や社会的孤立者の増加、閉じこもりによる高齢者等の虚弱化が一層顕在化し、従前からの福祉課題がより深刻となり、誰もが繋がり支え合う仕組みづくりと働きかけを行うことが求められています。

こうした状況において、地域共生社会の実現のため地域住民が抱える複合化・多様化した支援ニーズや制度の狭間にいる方々に対応する包括的な支援の中核を担っていくため、本会の各部門における各種事業、活動を通じ積極的に対象者のいる場所に出向き、併走して住民活動の支援や地域力強化に努めます。

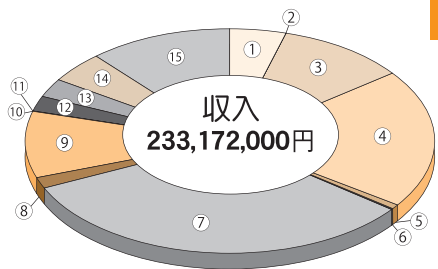
令和5年度から9年度の5ヶ年を実施期間として策定した、「第1期巨理町地域福祉活動計画」を軸とし、福祉の推進に取り組んで参ります。

【重点目標】

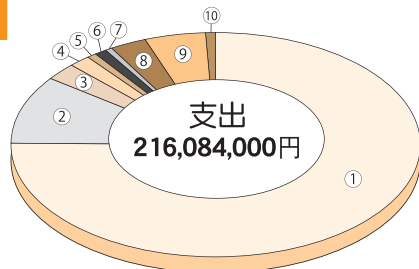
- ① 地域福祉活動計画に基づく事業の推進
- ② 相談支援体制の充実
- ③ 伴走型支援と社会資源の開拓
- ④ 介護保険事業所等の経営安定とサービスの質の向上
- ⑤ 組織体制の改革と経営基盤の強化

令和5年度 予算のあらまし

一般会計



①会費収入	10,350,000円
②寄付金収入	6,000円
③経常経費補助金収入	23,820,000円
④受託金収入	46,598,000円
⑤貸付事業収入	1,500,000円
⑥事業収入	360,000円
⑦介護保険事業収入	76,186,000円
⑧就労支援事業収入	3,705,000円
⑨障害福祉サービス等事業収入	22,310,000円
⑩受取利息配当金収入	9,000円
⑪その他の収入	120,000円
⑫積立資産取崩収入	5,100,000円
⑬拠点区分間繰入金収入	6,234,000円
⑭サービス区分間繰入金収入	10,402,000円
⑮前期末支払資金残高	26,472,000円



①人件費支出	162,530,000円
②事業費支出	21,248,000円
③事務費支出	5,401,000円
④就労支援事業支出	3,705,000円
⑤貸付事業支出	1,600,000円
⑥共同募金配分金事業費支出	2,074,000円
⑦助成金支出	1,177,000円
⑧拠点区分間繰入金支出	6,234,000円
⑨サービス区分間繰入金支出	10,402,000円
⑩その他の活動による支出	1,713,000円

スマホでチェック!

こちらから詳しい情報をご覧ください



巨理町地域福祉活動計画について

令和4年度より、地域福祉活動計画策定委員で1年間協議してきた計画が、令和5年度から令和9年度までの「第1期巨理町地域福祉活動計画」が策定されました。

巨理町社会福祉協議会の基本理念である『みんなが あたたかい心で支え合う 住みよいまち わたり』を実現していく計画となります。

計画の詳細は、2次元コードを読み込んでいただくか、巨理社協のホームページをご参照ください。

こちらから詳しい情報をご覧ください



スマホでチェック!



……ひとり暮らしのみなさんを応援します……

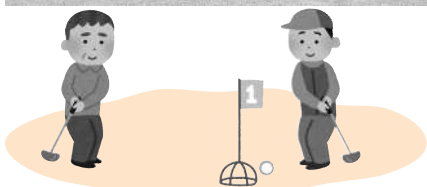
さざんかの会 ふれあい食事サービス



6月21日(水)に行われたさざんかの会は、全地区合同で、グラウンドゴルフを行いました。

さざんかの会でグラウンドゴルフを行うのは実に10年ぶり。また、参加者の半数以上が初めてグラウンドゴルフをするということもあり、ルールや打ち方など熱心に確認していました。

各グループ5~6人ずつにサポートとして民生委員さんとボランティアさんが加わり、距離の異なる5つのホールを体験。ボールの行方に一喜一憂しながらコースを回っていました。



参加者からは「できるか不安だったけどとても楽しかった」「またやりたい」などの声が聞かれました。



次回予定

9月15日(金) 亘理地区
10月5日(木) 吉田・荒浜・逢隈地区
内容は落語・法話を予定



※この事業は、みなさまからいただいた会費を財源に行われています。

子ども食堂「わたりんりん」を開催しました!

6月3日(土)荒浜地区交流センターで今年度初めてとなる「子ども食堂わたりんりん」が開催され、45世帯の申し込みがありました。

当日の食品や日用品の配付ほか、子どもたちに楽しく参加してもらおうとゲームを企画。会場内ではゲームを楽しむ親子の歓声や、配付物の多さに感激する声であふれていました。



配付物には、開催ごとに協力いただいている

社会福祉法人はらから福祉会「えいむ亘理」さんからの牛タンや、株式会社「ダイナム」さんからの日用品のセットに加え、コロナ対策として保管されていた食品や日用品が加わり、両手で収まりきれない量となりました。



ご協力
ありがとうございました!
(敬称略・順不同)

- ・社会福祉法人はらから福祉会「えいむ亘理」
- ・株式会社「ダイナム」
- ・メルヘンワールド亘理店
- ・亘理町逢隈 菱沼さん
- ・NPO法人虹色たんぽぽ
- ・子ども食堂「わたりんりん」実行委員会

生活支援コーディネーター
佐藤寛子の

『今この人に会いたい!』

あぶくま 永濱 由紀子さん (83歳)

荒浜生まれで、荒浜5丁目（現：あぶくま）へ嫁いだ由紀子さん。嫁ぎ先は海苔漁と農業をする半農半漁だったと振り返ります。元々じっとしている性格ではなかったこともあり、嫁いでからも朝から晩まで働きながら、妻として嫁として、家のこともこなしてきました。

そんな矢先、30代で体調を崩し、先生から「ストレス」が原因だと告げられ、これまで自分のことをないがしろにして働いてきた生活を見直すことにしました。家業の手を抜くわけではなく、ストレスを溜めずに自分のやりたいことを大切にしながら、婦人会などの地域活動に積極的に行きようになりました。

東日本大震災を機にこれまでの生活は一変、長い避難所生活を送ることに。そんな時にも由紀子さんの「じっとしてられない」性格がむくむくと湧き出し、避難されていた方と協力し、避難所の運営のお手伝いなどをはじめ、次々とでてくる様々な要望に応えながら前向きに過ごしてきました。

仮設住宅へ転居してからも、危険区域となった5丁目のみなさんから「みんなで集まりたい」という声をつけ、みんなが集える場所として「しゃべるっ茶会」を立ち上げ、現在もその活動を継続しています。



しゃべるっ茶会

「私なんて何もできないの」と謙遜する由紀子さん。でもいざとなると持前のやる気がわき出し、動かずにはいられません。みんなが笑顔で「楽しかった」といってくれ、やってよかったと感じ、それまでの苦労や心配が吹き飛ばさうです。

83歳になり、以前のように自由自在に動く事は難しくなりましたが、まだまだやりたいことはたくさん。特に畑仕事が好きで、小柄な体からは想像できないようなパワーを感じる事ができました。



永濱 由紀子さん



朗読会を開催しました



2003年1月に発足以来、声の出し方などの勉強を行いながら、今年の3月まで20年あまり、町広報「広報わたり」の音訳に取り組んできた「わたり朗読奉仕の会」。

会の高齢化もあり、これまで続けてきた活動は難しくなりましたが、視覚に障がいのある方に対する「情報保障」を今も訴え続けています。

7月5日(水)に開催された「朗読会～想いをのせて～」は、震災時に書かれたエッセイやわたりの民話、小説などぐっと引き込まれる世界観にその本を読んでみたくなるとても素敵な時間となりました。



サロン紹介

健やかサロン

(駅前東)



6月にスタートした「健やかサロン」は、地域のみなさんがこれからも元気に生活できるよう、身体を動かし、おしゃべりする機会を設けたいとの代表の熱い思いから発足しました。

中央コミュニティセンターを会場に月に2回、第2・4木曜日に活動を行っています。

主な活動は、ストレッチや軽い筋トレなどの運動とお茶のみ。



参加者が個々に持ちよる健康や運動の情報を共有しながら、みんなで健康な身体づくりを行っており、お茶のみでたくさんおしゃべりをするのも元気づくりの一因となっているようです。

無理をしないで自分のペースで身体を動かせるので、開催の回数を重ねるごとに参加者が増えてきています。

みなさんもお住まいの地域で、健康づくりの活動を始めてみませんか？



令和5年度

第1回

介護家族教室・在宅介護者激励会



講師 渡邊 望さん

今年度1回目となる今回は亘理町出身で現在、仙台の病院で音楽療法士としてお仕事をされている渡邊望さんを講師に招き、参加者には音楽療法について理解を深めていただくとともに、実際に音楽療法を体験していただきました。

また、ヴィオラやヴァイオリンの演奏では、みなさん熱心に耳をかたむけられ、中には感極まって涙を拭く方もいらっしゃいました。

今まで音楽を好んで聴けなかったという方も、今回の講演を受けて、音楽のある介護生活について考えるきっかけになったとの声が聞かれました。

後半の懇談では活発な意見の交換が行われ、参加者にとって情報交換やリフレッシュの機会となったようです。



次回の開催予定

日時：9月9日(土) 10:00～11:45

場所：亘理町中央公民館

対象：町内に在住し、要介護認定2～5のご家族を在宅で介護している方

内容：介護するにあたっての関わり方、行動の促し方について

講師 社会福祉法人日就会 特別養護老人ホーム 日就苑
介護係長 介護支援専門員 竹田 祐輔 氏

社協会費納入のお願い

社会福祉協議会は、地域福祉の推進を地域住民とともに図っていく事を目的とした公共性・公益性の高い社会福祉団体です。

みなさまからのお預かりした社協会費は、「高齢者福祉」「障がい者福祉」「児童福祉」等、さまざまな福祉活動の財源となっております。

つきましては、会員の皆様には趣旨をご理解のうえ、福祉協力員（行政区長）が訪問した際は、会費納入にご協力くださるようよろしくお願いいたします。

普通会費	1,000円
特別会費	2,000円以上
賛助会費	10,000円以上/口

スマホでチェック!

こちらから詳しい情報をご覧ください



「もったいない」から「ありがとう」へ フードドライブのご協力ありがとうございます!

▶ フードドライブとは ▶

いただきものや買いすぎてしまい開封されないままご家庭で眠っている食品を寄付をいただき、困っている方へお渡しするものです。

…………… 1月から6月までの実績 ……………

※ ありがとうございます ※

米・野菜・調味料・乾麺・お菓子・レトルト食品
缶、瓶詰め・ジュース等 40件 180.9kg

※ お渡しした方 ※

相談のあった延べ79名の方へ
361.8kgをお渡ししました。

こちらから詳しい情報をご覧ください

スマホでチェック!



寄付していただける方、支援を必要とする方、窓口を受けてくださる企業・事務所の方々、お気軽にお問合せください。



新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられ、県の生活支援物資の配付が終了したことから、在庫の有効活用をすることを目的として、希望する社協へ物資提供の呼びかけがありました。

本会では食品や日用品などの提供をいただき、町内の高齢者および障害児者施設、町内の小中学校に対し、トイレトペーパー、ティッシュペーパー、ハンドソープなどの配付をさせていただきました。

あたたかい善意ありがとうございました。

次の方々から寄付をいただきましたので照会いたします。(令和4年1月19日～令和4年7月15日)

(一社)フローアクティブサポート 180,000円
匿名(中町区) 紙オムツ4袋、パッド1袋
亘理町グラウンドゴルフ協会 1,800円
匿名(あぶくま区) 紙オムツ8袋、防水シート1枚
伊藤昭弘様(浜吉田西) 紙オムツ5袋
匿名(新丁区) 紙オムツ、服等

匿名(一本松) タオル
匿名(十文字村区) 米30kg
匿名(浜吉田北区) 紙オムツ2袋
小笠原初彦様(新町南区) ポータブルトイレ(未使用)1台
株式会社東和製作所様 6,918円
(株式会社サンベンディング東北設置の自動販売機による寄付)